



Mark Melaney

マーク・ダニエル・マローニー
2019-20年度国際ロータリー会長

No. 9 *the Rotary Club of*
Takasago, Japan

週報

高砂

クラブ会長方針

“つながりを太く強く”

- ①例会を大切に
- ②共助で活動を
- ③チームワークでI.M.を成功に

例会記録 (2019. 9. 6 (金)) 通算3,228回

- ◆開会
- ◆国歌「君が代」斉唱
- ◆ロータリーソング「奉仕の理想」
- ◆「四つのテスト」唱和

◆プログラム予定

9月13日 (金)	9月20日 (金)	9月27日 (金)	10月4日 (金)
卓話「最近のなかお」 中尾 良治 会員	休会 定款第8条第1節(C)による	移動合同例会 高砂青松RCとの合同例会 (ウエディングパレス鹿島殿) 工藤 栄一 様 元旭硝子株式会社執行役員 AGCセラミックス株式会社社長 CSR室長 「元気な組織作り」	ゲスト卓話 「米山月間卓話」 スシラ・バセル・サルキ 様

◆出席報告

本日	9月6日	会員数40名	出席者	30名	出席率	81.08%
前々回	8月23日	会員数40名	修正出席者	39名	出席率	97.50%修正
			8月度	平均出席率	91.88%	

◆MAKE-UP

富沢 康雄	会員	e-CLUB	9月4日 (10月4日)
後藤 純次	会員	e-CLUB	9月4日 (9月6日)
滋野 敦士	会員	e-CLUB	9月4日 (9月6日)
落合 計夫	会員	e-CLUB	9月1日 (8月23日)
落合 計夫	会員	e-CLUB	9月1日 (8月30日)
落合 計夫	会員	e-CLUB	9月1日 (9月6日)
高畑 健一	会員	e-CLUB	

◆お祝い

○出席100%祝

山本 広志会長 (30年)
大村 泰司会員 (26年)
鎌谷 雅彦会員 (3年)

○会員誕生日祝

高木 史郎会員
森本 幸吉会員

○配偶者誕生日祝

山名 克典会員 (幸子様)
鎌谷 雅彦会員 (美恵様)
中野 哲郎会員 (千浪様)

○結婚記念日祝

坂牛 裕会員
滋野 敦士会員



出席100%祝



誕生日祝



結婚記念日祝

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

脇谷 政孝会長……落合委員長、本日の卓話よろしくお願ひいたします。

新井 哲三会員……落合会員、卓話よろしくお願ひします。楽しみにしています。

山本 広志会員……出席100%のお祝いを頂き有難うございます。

大村 泰司会員……出席100%（26年）のお祝ひありがとうございます。

鎌谷 雅彦会員……出席100%（3年）のお祝ひ、配偶者誕生日のお祝ひありがとうございます。

高木 史郎会員……誕生日のお祝ひありがとうございます。

森本 幸吉会員……お誕生祝ひありがとうございます。落合会員、卓話楽しみにしております。

山名 克典会員……配偶者誕生日のお祝ひありがとうございます。

坂牛 会員……結婚記念日のお祝ひを頂いて。

早退1名

◆幹事報告

◎国際ロータリークラブ第2680地区

2018-19年度ガバナー・会計長

「2018-19年度地区会計決算のご報告」

◎国際ロータリークラブ第2680地区

ガバナー・社会奉仕委員長・地区ローターアクト小委員長・

地区ローターアクト代表・関西四地区交流会実行委員長

「2019-2020年度 関西四地区ローターアクト交流会 開催のご案内」

日時：2019年10月20日（日） 13:00

場所：ラッセルホール

◎国際ロータリー日本事務局 業務推進・資料室

「基本的教育と識字率向上月間 リソースのご案内」

◎公益財団法人 兵庫県青少年本部

賛助会員費納入のお札

「賛助会員カード」について

機関紙「青少年ひょうご」

◎社会福祉法人 竜山会

理事長交代ご挨拶状

◎国際ロータリー日本事務局 クラブ・地区支援室

「ホノルル国際大会よくある質問について」

いずれも、回覧しておりますので、ご確認お願ひ致します。



坂牛 裕 副幹事

◆会長の時間

9月は「基本的教育と識字率向上月間」そして「ロータリーの友月間」です。そもそもこの特別月間はどういう意味合いがあるかという点、クラブだけでなくロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー理事会が特別月間・週間・日を指定しています。以前はこの9月は「新世代のための月間」でしたが、2015-16年度より、6つの重点分野の月間が取り入れられ、「基本的教育と識字率向上月間」となりました。日本の識字率の定義は「15歳以上で読み書きのできる者」で99%とされています。そのため日本では識字率向上への関心が極めて低いのが現状ですが、世界には貧困や紛争、学校が近くにないといったさまざまな理由から学校に行けない子供（6～14歳）が約1億2000万人。教育の機会が得られず、大人になっても文字の読み書きができない人が7億5000万人以上います。貧困の原因ともなるそうした状況を改善するため、ロータリーでは学校を造り、図書を贈り、さらには教師を育てるなど、世界各地で活動を行っています。



協谷 政孝 会長

また日本独自の特別月間として9月の「ロータリーの友月間」と10月の「米山月間」があります。ロータリーの友9月号では特別月間に関する特集記事があり、『言葉が人の未来を育てる』ではグローバル補助金や地区財団活動資金を活用し、国際奉仕事業を展開しているたくましいクラブが紹介されています。今の高砂RCとは遠く離れた次元の活動かもしれませんが、「ロータリーの友」はロータリークラブが実践している事業について知るためのよい情報源だと思います。

さて、本日のプログラムは落合会員による卓話です。本年度プログラム委員会には会員による卓話の機会を増やしていただくことと、委員会担当制にして割り振りを行っていただくことをお願いしております。例えば社会奉仕委員会に組み込まれた職業奉仕の分野で「我が社の職業奉仕」といったテーマで卓話を行っていただきたいという要望を出しておりましたが、これに対し高木副委員長が「**カ**ガクデ**ネ**ガイヲ**カ**ナエル会社」(株)カネカ常務執行役員高砂工業所長の落合会員にお願いされ、この卓話が実現したところです。「生分解性プラスチックのお話」の内容も興味深いところです。この度欧州連合の全食品接触用途で使用可能になったとのこと、世界的な社会問題となっている海洋汚染の低減に大いに貢献の期待がかかるお話を聴きましょう。

